

小児のけいれんについて調べるには・・・

ご存知ですか？

小児期、特に乳幼児期の脳は発育途上で未熟性を残すことからけいれん準備性が高く、熱性けいれんや軽症胃腸炎に伴う良性けいれんなどは日常遭遇する機会の多いけいれん性疾患です。頻度は多くありませんが、髄膜炎や脳炎・脳症に伴いけいれんをきたすこともあり、鑑別上重要です。

一方、てんかんは大脳神経細胞の電氣的過剰興奮により、けいれんや意識の曇りなどの発作(てんかん発作)をきたす疾患ですが、その7割は小児期に発症します。このようにけいれんをきたす原因は様々です。

こんな本で調べられます

- こどもの病気の地図帳 (鴨下重彦・柳澤正義 監修)
- イラストによるお母さんへの病気の説明と小児の診療
イラスト編・解説編(大塚親哉 監修)
- 小児科のお医者さんからママたちへ (中野康伸 他著)
- 新生児・小児科疾患 : 看護のための最新医学講座 (日野原重明 監修)



よくわかるサイトはこちら

- 小児神経Q&Aコーナー : 日本小児神経学会 <http://child-neuro-jp.org/visitor/qa2/qa.html>
- <熱性けいれん>
- 熱性痙攣 : MyMed 医療電子教科書 <http://mymed.jp/di/e7m.html>
- <てんかん>
- 日本てんかん協会 <http://www.jea-net.jp/tenkan/tenkantoha.html>
 - てんかんとは : 日本てんかん学会 <http://square.umin.ac.jp/jes/qaa.html>
 - てんかん情報センター Q&A : 静岡てんかん・神経医療センター
<http://epilepsy-info.jp/faqs/>
 - てんかんセンター : 西新潟中央病院 <http://ns.masa.go.jp/epi/epilepsy.html>

ちょっと相談してみたい・・・こんなことが心配、不安・・・

健康生活支援室をご利用ください。

看護師(常駐)が相談をお受けしたり、司書が調べもののお手伝いをします。各専門職(薬剤師・臨床心理士・栄養士・ソーシャルワーカー・リハビリ技師など)への紹介や医師への医療相談の受付(予約制)ができます。

河北総合病院 健康生活支援室 場所: 本院本館1階

利用時間: 月～土 9:00～16:30

(日曜・祝日・年末年始はお休みです)

